

## 1 事業総括

年間入所目標を90世帯としたが、実績は83世帯で目標の92.2%という結果となった。世帯種別では、女性単身63.8%、母子世帯7.2%、夫婦世帯7.2%で、女性単身世帯の割合が高かった。世帯属性は、高齢者32.7%、ひとり親26.8%、外国人13.4%、精神障害10.2%で、前年度に比べると高齢者と外国人が増えている。高齢者や外国人はアパート探しに難航するケースが多く、在所期間が長くなる傾向にある。

利用者支援では、淀橋荘が宿所提供施設へ転換する以前の宿泊所時代から入所していた利用者が、地域のアパートへ転宅し退所となった。支援関係者との関わりを拒み続け20年近くの在所となっていたが、本人の健康問題をきっかけに生活上の課題を話し合えるようになり、転出に向けて動くことができた。緊急一時保護事業の入所期限を大幅に超えた長期利用が終了した。

施設整備では、建物・設備の老朽化に加え、乱雑な使用により、居室内の設備故障が多くなった。当初予算作成時の想定より修繕費支出が多くなり、繰越金の取崩で対応した。故障該当居室だけではなく、他の施設利用者にも大きく影響が及んでしまう結果となり対応に苦慮した。

地域との関係では、併設施設と合同で「淀橋市場まつり」「地域防災訓練」に参加。また、新たに地元商店会が主催した「サマーフェスティバル」に協力参加。利用者、職員とも地域住民の一員として参加しており、地元町会の方々との信頼関係を深めるよう努めた。また、所内の行事で、韓国のポップスオペラグループによるコンサートを実施。迫力あるパフォーマンスは参加者の好評を得た。

## 〔利用実績〕

	年度 累計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入所世帯数	83	6	7	4	11	7	9	6	6	5	8	7	7
退所世帯数	79	4	4	10	6	10	8	4	8	8	6	3	8
月末在籍世帯数	平均 22.16	22	25	19	24	21	22	22	22	19	21	25	24
28年度	平均 21.58	25	25	22	24	22	21	20	22	22	18	19	19

## 〔退所理由〕

(単位：世帯)

	自 活	転 居	居 宅 移 管	入 院 除 籍	移 管 福 祉 施 設	任 意 退 所	無 断 退 所	命 令 退 所	等 同 居 帰 郷 ・ 親 族	拘 留 除 籍	死 亡	そ の 他	合 計
29年度	0	1	51	1	11	4	4	0	4	0	0	3	79
28年度	2	0	50	1	18	2	2	0	6	0	0	0	81

## 2 主要目標に対する成果

## (1) 安心・安全の施設運営

安否確認は、毎日入所者がカードを事務所窓口へ提出する方法で実施。入所者と職員がなるべく顔を合わせる状況を作り、入所者の特性に配慮した声掛けを行い、相談しやすい関係性を作った。

## (2) 特人厚バックアップセンターとの連携を密にした緊急一時保護機能の充実

入所申込みの時点での情報取得を詳細に行い、事前に必要な支援策を想定し、入所後は速やかに支援を実施。福祉事務所へは生活の様子や目標の進捗状況を報告し、目標達成に向けた情報共有を密に行った。

## (3) 利用者支援内容の充実

支援確認書を作成し、退所に向けてやるべきことの優先順位を確認。期限内の目標達成ができるよう、各種専門相談など利用できる社会資源を活用した支援を行った。ケース検討会では外部から専門家を招き、DV被害者への支援を取り上げた。

<b>3 運営管理</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦や幼児がいる世帯には、助産師による育児相談を必ず受けるよう方向付け、子育ての不安を1人で抱え込まず相談できる機会とした。(延べ22世帯相談)</li> <li>・メンタルケア相談は名称を「たいわかフェ」に変更。お茶を飲みながらリラックスして話ができるようにした。(延べ21世帯参加)</li> <li>・毎月実施の手芸会(折り紙)では、季節に合わせた作品作りを行った。(延べ45世帯参加)</li> <li>・ネイル施術を勉強しているOG利用者によるネイルケアを実施した。年3回実施し、参加者から好評を得た。(延べ6世帯参加)</li> <li>・グループワークは、タイ出身の利用者によるタイ料理教室、更生施設の看護師と栄養士による熱中症と食中毒の対策、韓国ポップスオペラグループによるコンサートを実施。(延べ17世帯参加)</li> <li>・調理実習では、「バングラディッシュ料理」「秋の味覚」「春野菜の調理」を実施。調理を通じて利用者間の交流が深まった。(延べ12世帯参加)</li> <li>・季節行事は、「七夕会」「クリスマス会」「ひなまつり」を実施。延べ16世帯参加。</li> <li>・利用者懇談会を年4回実施した。利用者からの意見では、部屋の設備に関する質問があった。(延べ33世帯参加)</li> <li>・宿提会議・ケース検討を月1回実施。利用者の現況を詳細に報告し情報共有した。</li> <li>・併設施設と合同で自衛消防訓練を年4回実施。</li> </ul>	
<b>4 保健衛生・環境整備</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの排水管詰まりが続けて発生したため、利用者懇談会でトイレ使用の注意について周知した。居室トイレが使用できなくなった際は、代替利用の居室を確保し、混乱が最小限となるよう迅速に対応した。</li> <li>・防虫点検(年3回)、消防設備点検(年2回)、受水槽清掃(年1回)、雑排水管清掃(年1回)を実施した。</li> </ul>	
<b>5 施設の社会化(地域交流事業及び施設機能強化推進事業)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉事務所向けの施設説明会を併設施設と合同で1回実施。</li> <li>・地元町会行事の「サマーフェスティバル」「淀橋市場まつり」「合同防災訓練」に参加。</li> <li>・職員学習会は、「在住外国人DV被害者支援」「DVの子どもへの影響や支援について」を実施。小規模の学習会だったため、参加者が意見を出しやすい雰囲気となった。(延べ12名参加)</li> <li>・併設施設やその他事業団施設や関係機関からの実習生、見学者を受け入れ、宿所提供施設の現状と役割の理解を図った。</li> <li>・淀橋市場職員へ駐輪場の貸し出しを実施。</li> </ul>	
<b>6 福祉サービス第三者評価 評価結果</b>	
評価機関：特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構	実施期間：H29.6.1～H30.2.9
<b>全体の講評：</b> <b>特に良いと思う点</b> ① 施設独自の専門相談の機会を設け、利用者が安心・安定した生活を送れるよう支援している。 ② 豊富な行事を実施し、生活スキルの向上を図ると共に利用者同士の交流の機会ともなっている。 ③ ケース検討や職員学習会を定期的実施し、アセスメント力及び支援能力の向上に取り組んでいる。 <b>さらなる改善が望まれる点</b> ① 障害者や外国籍のある方に対応した当施設版の「しおり」の作成も望まれる。 ② 課題・ニーズ別の必要な社会資源について検討、整理し、その活用が望まれる。 ③ 当施設の実情に合わせた独自のマニュアル作成が望まれる。	<b>施設コメント：</b> 育児やメンタルの不安軽減を目的とした専門相談が高く評価された。今後も利用者に安心・安全を感じてもらえる施設運営を実施するため、ケース検討や学習会を通じ、職員の支援能力向上に取り組んでいく。利用者アンケートでは、設備の老朽化による汚損について言及があったので、施設内の美化はこれまで以上に力を入れたい。次年度の目標として、特性別に対応した「生活のしおり」や淀橋荘独自のマニュアルを作成し、支援の充実を図っていきたい。